

介護職員等特定処遇改善加算における 職場環境要件の「見える化」について

社会福祉法人緑風会の職場環境要件に対する取り組みは下記のとおりとなります。

●資質の向上

働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む）

- ・資格取得支援制度を制定し、実務者研修の受講費用や面接授業を支援しております。喀痰吸引や認知症ケア、サービス提供責任者研修等へ積極的に参加しております。

●労働環境・処遇の改善

ICT活用（ケア内容や申し送り事項の共有（事業所内に加えタブレット端末を活用し訪問先でアクセスを可能にすること等を含む）による介護職員の事務負担軽減、個々の利用者へのサービス履歴・訪問介護員の出勤情報管理によるサービス提供責任者のシフト管理に係る事務負担軽減、利用者情報蓄積による利用者個々の特性に応じたサービス提供等）による業務省力化

- ・タブレット端末の導入や記録の電子化、シフト作成支援ソフトの導入等により業務の省力化を図っております。

介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入

- ・新規の入浴機器やリフト、見守りセンサー等を導入し、負担軽減を図っております。

子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備

- ・育児休業等の細則について定めるとともに、企業主導型保育室と提携することで子育てとの両立を支援しております。

ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善

- ・介護職員による定期的な会議を開催し、勤務環境やケア内容の改善を図っております。

●その他

中途採用者（他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等）に特化した人事制度の確立（勤務シフトの配慮、短時間正規職員制度の導入等）

- ・新入職員一人ひとりに合わせた勤務シフトを組むことで負担軽減を図っております。

非正規職員から正規職員への転換

- ・希望者の要望を元に正規職員への転換を行っております。

職員の増員による業務負担の軽減

- ・職員採用を積極的に行うことで、一人ひとりの業務負担を軽減しております。

令和元年10月

社会福祉法人 緑風会
理事長 篠田 實